

## 昭和電線グループにおける調達改革について

昭和電線ホールディングス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・グループ CEO:長谷川隆代)は、昭和電線グループの中期経営計画「Change SWCC2022」を実現するため、2019年6月1日付で調達本部を設置します。調達本部は昭和電線グループの調達戦略や調達条件を統制することにより、集中購買を加速させ、サプライヤーとのパートナーシップの強化を視野に昭和電線グループの調達改革を推進します。中期経営計画最終年度の2022年度までに年間20億円の利益創出を目指し、安定した収益基盤の構築に取り組んでまいります。

### 1. 調達体制の整備

2019年6月1日付で昭和電線ホールディングス株式会社に調達本部を設置し、グループ個社の調達責任者と共に、グループの調達戦略や調達条件を統制する。

### 2. 調達改革の方針

- ①【昭和電線グループ調達部門の集約・強化】  
昭和電線グループの人材・情報を調達本部に集中させ、調達体制を強化する。
- ②【新たなサプライヤーの発掘】  
成長事業分野に貢献できるサプライヤーを発掘し、開発のスピードを上げる。
- ③【有力サプライヤーとのパートナーシップ強化】  
調達戦略や成長戦略を共有できる有力サプライヤーと戦略的な取引を拡大する。
- ④【ものづくり改革・生産性改善への貢献】  
生産技術部門と一体となった活動を推進し、新材料の提案・採用によってもものづくり改革・生産性改善に貢献する。

### 3. 調達本部の重点テーマ

- ①【調達統制の強化】  
昭和電線グループの調達戦略や調達条件を調達本部で統制し、グループ個社の枠を超え調達改革を推進する。
- ②【調達リソースの最適化】  
各事業セグメントの要望を調達本部がグループ個社の枠を超え実現する。  
調達本部が調達部門の人材育成を推進する。
- ③【利益創出目標の設定】  
グループの目標を設定し、集中購買、サプライヤーとの協業、調達物流マネジメント、新材料採用、VA等を推進する。  
『2022年度までに年間20億円の利益創出』を目指す(2018年度対比)
- ④【調達リスクの低減・CSR調達の推進】  
調達BCPの対策を強化し、当社のCSR調達活動を推進する。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略統括本部 経営企画部 TEL:044-223-0520

以上